



刊夕日七廿月一十

「若者の悶へ」 孤舟生
きみが妻ひとめみて悶へ
なやむ
我胸を誰に語らん心の奥
ぞ
なつかしき君が姿をい
つ、
門口出て待つもごかしさ
を
あふうてみて君と語らん
胸のうち
心おとり燃へくるるしさ
雨に思ひ風心に心を砕けと
戀しき人のおとづれもせ

移轉廣告
内外科
皮膚科
入院應需
白銀町(北郷醫院跡)
新妻醫院
電話呼五六九番

御案内
一、冬衣各種特價提供
二、實用的な編物の季節で御座います
三、編物界の王千葉富美先生著
毛糸各種各色が取そろへました
毛糸編物研究 60銭
弊店毛糸部にて販賣致します
海岸線平町
三井吳服店

眞に是れ鬼に金棒!
日本コンクリート鐵網
拔群優秀なる斯界の權威
磐城セメントを推奨す
最も經濟的に然も超越せる無比の良材
(施工説明書を進呈致します)
特約代理店 平町五丁目
久釜屋商店
電話九番、一三九番

青沼醫院
内科
小兒科
皮膚科
花柳病科
平町城山(舊城跡)三の丸
醫學士青沼淡夫
電話四〇三番

久野製果販賣部
福島縣平町一丁目
電話一五〇番
工場 平町長橋町六十一番地

東邦民衆保險
火災
代理店 磐城野草
三源野
目丁四町平
番七五一話電

丸登株式店
平町田町 電話三三三番
川添房二郎

株賣買中値
電話に金融致します

久野製果販賣部
福島縣平町一丁目
電話一五〇番
工場 平町長橋町六十一番地

東邦民衆保險
火災
代理店 磐城野草
三源野
目丁四町平
番七五一話電

丸登株式店
平町田町 電話三三三番
川添房二郎

Table with exchange rates for various banks and locations. Columns include bank names (e.g., 磐城銀行, 平銀行), locations (e.g., 磐城, 平), and rates.

酒清鶴仙
釀造元
石城郡平窪村
電話二四一番
松吉屋本店

東邦民衆保險
火災
代理店 磐城野草
三源野
目丁四町平
番七五一話電

丸登株式店
平町田町 電話三三三番
川添房二郎

Table with exchange rates for various banks and locations. Columns include bank names (e.g., 磐城銀行, 平銀行), locations (e.g., 磐城, 平), and rates.

洪水を除去する

第一の階梯を定め

螢雪會が治水策を樹て、平町の區長を説く

平町を水害の災厄から免れしめんとして平小學校明治三十四年度卒業生に依つて組織する、螢雪會が奮起し各方面にその宣傳文書を撒布した事は當時報道の如くであるが洪水を防ぐ第一階梯として先づ神谷村鹽の堤防外の竹林及び洲の如きを除去して築堤せん計劃を立て左の建議書を各區長より伊坂町長に出せしむべく螢雪會の吉田虎之助清水重厚其他の諸氏が奔走中であつて既に大半區長の調印を得た。

建議書

洪水によりて蒙る被害の甚大なるは今更ら之を費せずとも當町の如き市街地にして一日の降雨によりて洪水直に浸水家屋あるが如きは本縣下に其比類を見ず然るに膨大にして自然に發展し膨大したる由因のものに附近に天與の炭田あるが爲なり而して之れを無盡に非ず今にして町百年の大計を建てざれば噴瀆の悔を殘さんこと火を賭るよりも明かなり、實に平町より此の洪水を低減すること此の大計の第一階梯なりと信ず依て何等かの方法を以て治水策を講せられんことを望む、神谷村鹽の堤防外の竹林及び洲の如きは阻水すること甚だしく是れを除去するに非ざれば幅邊を廣めて築堤せる意に反すべく平町よりの移轉費寄附又意味を成さざるべしと思ふ。

故に此際速かに是れが除去を縣に陳情せられたく連署を以つて建議候也

更正は一件

他は總て撤回

平稅務署管内に於ける本年度三種處得決定に對し不服なりとして異議申立を爲したるものは合計六件あつたが是等は何れも納稅者側に處得算出上適確なる根據なく當該官吏の説明に依り撤回するもの多く申立通り訂正したのは僅かに一件である。

七割内外

査定の結果

平稅務署管内(石城郡一圓)に於て早害の爲め減收七割以上に達し地租條例の處罰收獲皆無地として稅務署に免租の申請を爲したる二百四十八町四反五畝歩地價金七萬八千五百九十七圓餘、地租三千五百卅六圓、筆數四千九百九十二に對しては去る七日以來同署土地係殆んど總出にて實地踏査に従事し廿六日大體の調査を了したが免租地となるは前記中約七割内外で申請當時役場の指導を受けず減收査定上事實上適合せぬものは殆んど

ご却下さるべく監督局に稟議の上來月十日前後に於て決定されるであらうと

入會地解決案 既報

地問題に關しては明廿八日午後一時から兩村委員を郡衛に招集し水野郡長から想篤な解決案の説明ある等

平町の綿商人が

子に會つた喜しさに

破目を外した祝盃

二十二日下谷七軒町では福島縣平町一七羽根一郎長男義一(一)が無断上京して方にくれてゐるを保護し、國元に照會の結果二十四日父一郎が上京義一を引取つて行つたが、父は久しぶりの上京と子供に廻り會つた嬉しさに破目を外しパーで祝盃を擧げたが泥酔して忽ち懷中の十圓を使ひ果して蒼くなつて上野署に駆込み今度は親子諸共保護を受けつゝ、國元よりの引取り人待つてゐる。(東京通信)

辯論大會

郡下青年の演題と辯士

既報警城中學校辯論部主催郡下青年學生聯合辯論大會



主婦の頭の働き

主婦の頭の働き

料理の研究が盛んになつて講習會なども方々に開かれますのは非常に結構ですが

定)本部四年春日三代選(國威を發揚せよ)入遠野平子勸解由、(最大なるフアクトをみとめて)本部四年白土八三郎、(生の悲歌)三坂永久保俊策(未定)内郷吉田福太郎、(失敗に於ける成功)本部四年日野利春、(時局と青年)大野馬土豊、(強き人)本部五年齋藤教平、音樂、瀨戸の風景、ボレロ、管中音樂部員、(希望一言)草野邊邊一、(未定)本部五年中根軍司、(艱難汝を玉にす)大野木村淑雄、(教育と經濟)大野金成仙司、(古きねく)本部五年箱崎精一、(今後の日米關係)平竹内幸三郎、(青年と理想)大野吉田英夫、(諸君に對する私の願)大野木村量、(靈魂の漂ひ)本部五年加茂谷龍藏、(未定)平窪先輩(未定)小名濱神谷市郎、(未定)大浦弘四郎、(初春の野火)本部五年吉崎勝雄、音樂(カール王マテラジオートル)警中音樂部員(部長の挨拶)山崎先生、(所感)校長先生

平町人事

▲出生
△鎌田町 渡邊辰三郎氏長男千代
△五丁目 荒田氏長女
△立町 小野寺金雄氏長男輝雄
▲死亡
△白銀町 早川幸太郎(四一)
△三丁目 江原四郎(二四)

通行人に迷惑な 街路の球投げ禁止

歳晚の混雑を豫期して

平署が近く具體案作成

平町にては近時運動熱の勃興に伴つて適當な運動場を有しない情なきに各商店の店員や小學生徒などは公然街路に於て庭球や野球の眞似事に興じその交通を妨害ぐることに少くない、就中所謂硬球を使用するものに至つては時折間違を生ずること珍らしからず通行一般の迷惑多く今其弊は何人も認むる處であるが時漸く歳晚にも近づき近在から人出其餘の他に街上一層

入賞者氏名

授與式は來春

既報平町外平窪、神谷、夏井、好間、飯野五ヶ村聯合立毛品評會の審査結果左の如くにて明春早々褒賞授與式を舉行する

- △二等、神谷木村要次郎、夏井鈴木未吉、平窪矢吹勝美、平窪高萩森之助、神谷吉田巳之吉、△三等、飯野村田與吉、飯野草野廣知、同永安治、同波沙龍吉、平窪松本翁太郎、同鈴木多次郎、夏井高木竹治、△四等、神谷西部義忠、同鈴木秀明、同西部熊五郎、同鈴木熊彌、平窪鈴木重次郎、同根本重次郎、同根本長之助、同根本佐助、同薄葉郡次飯野須藤駒吉、同井尻桃太郎、鈴木文彌、好間勝沼卯作、同高木藤五郎、同金成金作、同小野榮太郎、同中村彌五衛、同根内孝正、夏井箱崎藤雄、同箱崎義範、平町荒川恒太郎、同鈴木猪之松、同鈴木政一

炭界の功勞者なる茨城探炭株式會社々長阿部吾市氏は昨日石城郡植田町植田水力電氣を視察し午後四時から同町小學校にて金成通氏の挨拶に次いで勞資協調に關する講演を試みたが傍聴者多數ありし由

不平受付

投書歓迎

由であるから是れ又非常な名聲を轟かすであらう
荷馬車の置場、今夜の貴紙に魚市場への荷馬車が南町通りに停留して馬糞をまきちらす不中が居る見ても本町四丁目通りも見て下さい、魚市場附近は毎朝荷馬車の行列で附近の商店は非常に迷惑して居ます、是れは是非何んとかして貰はぬと交通妨害所か附近商店の營業にも差支へます
●不平客生
▲伊藤平署長の答 承知しました近く市場の管理者を呼んで適當な善後策を究つて御迷惑ならぬ業な方法を講じます